

「小規模総合学科校等による地域と連携・協働した高校魅力化」実績報告書

実践テーマ	地域創生や持続可能な社会づくりの観点からの探究活動等の充実に向けた取組
教科科目 及び概要、 担当者名	総合的な探究の時間（3年次、課題研究）での地元企業とのキッチンカー運営 教諭 河田志歩
連携・協力 機関	NPO 法人北見サポートセンター、(株) 地域価値協創システム、NPO 法人福祉サポートきらきら本舗、NPO 法人マイスペース美幌、ツルハるべしべ店 他
取組の内容	昨年度のキッチンカー運営事業の準備を生かし、今年度は地域活性化を1つの目標として、本格的な商品開発と2回の販売実習等を行った。 （1）商品開発【テーマは“豆”】 地元の特産品である“豆”を使用した商品開発を行った。数回の試作を経て、販売する商品を「白いんげんバーガー」に決定。白インゲン豆と大豆を混ぜたパテを創作した。また、レタスやトマト、パンズなどの食材も地元で作られているものを使用した。また、2回目の実習日がハロウィンに近いこともあり、「かぼちゃのカップケーキ」を品目に加え販売した。  （2）販売実習 1回目の販売実習は、留辺蘂町の「きごころ広場」で行った。初めての運営に戸惑うことも多々あったが、生徒は臨機応変に対応し、地域の方々と交流した。 2回目の販売実習は、「ツルハるべしべ店」前で行った。1回目の反省を生かし、購入制限を設ける、整理券を配付するなど、スムーズな運営を心がけた。 購入していただいたお客様には、アンケートを配付し、味の評価やキッチンカーの運営について意見を頂いた。  （3）ロゴの作成 活動のインパクトを残すため、ロゴを考案。 
取組の成果 学校・地域	高校生と地域の方々が交流できる場となり、本校の活動をアピールする良い機会となった。
次年度展開	